

きょうさいだより

佐世保共済病院写真コンテスト作品
優秀賞 本山 繁敏氏【光景】

理念

博愛の精神
人の和
自己研鑽

目標

1. 私達は、地域のみなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療をめざします。
2. 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
3. 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己磨きに努めます。
4. 私達は、それそれが自己の責任を自覚し、安全な診療をめざします。
5. 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合う心をもって診療に努めます。

INDEX

●開村10周年の鷹島モンゴル村を訪問して／平成16年1月からケアミックス型病院へ転換	p.1
●慰靈祭の開催／「福岡県街なか再生勉強会」の皆さんのが来院／7階南病棟職場紹介	p.2
●診療活動の現況～循環器内科～	p.3
●新採用医師の紹介／職場紹介	p.5
●連合会美術展／TOPICS／年末年始の当直体制／編集後記	p.6
●外来診療担当表	p.7

開村10周年の鷹島モンゴル村を訪問して

院長 福井 仁士



去る11月初め開村10周年記念を迎えた鷹島モンゴル村を整形外科部長萩原君とともに訪問しました。式典には、モンゴル力士の旭天鵬、旭鶯山、モンゴル国からの子ども達も参加し、モンゴルの草原を彷彿させる丘陵地の式典会場は大いに盛り上りました。元寇来襲で歴史に残る鷹島は現在、宮本町長の卓越した企画と運営により、素晴らしいリゾート地として整備されてきています。

弘安の役(1281年)から700年経過した今から22年前に、元寇の役700年記念祭が当地で行われました。島内の宮地嶽史跡公園に元寇記念之碑(写真)が残っていますが、この碑の裏側に元寇の役を記した碑文が彫り込んであります。この碑は大正4年に建立され、碑文の文章は長崎の文学者石橋忍月により、書は当時の鷹島尋常小学校の校長であった林傳太郎(私の母方の祖父)によるものであります。林傳太郎の孫として、私も700年記念祭に招待の栄を受けました。このたび久しぶりに鷹島を訪れ、22年前と比べるとめざましく発展した島の様子に目を見張る想いでました。

鷹島からは、佐世保共済病院に多くの患者さんに来ていただいております。その方々の数名にお逢いすることができ、歓迎を受けました。純朴で、心優しい島の人々のおもてなしに触れ、心が洗われたような気持ちとなって佐世保に帰ってきました。

平成16年1月からケアミックス型病院へ転換

事務部長 山崎 透

我国の医療機関は平成15年8月までに病床区分の届出を求められることになり、当院は433床のうち40床を療養病床に転換、残る393床をこれまでの急性期医療を担う一般病床とするケアミックス型を選択することにいたしました。

当院の平均在院日数は数年来19日前後で推移し短縮のきざしがありませんでしたが、その原因を調査したところ、諸般の事情で在宅医療や転医をお願いできない一部の患者さんが長期入院になっていることが分かりました。この事態への対応の為にも、療養型病床への一部転換が必要と判断したものです。

新病棟は管理部門と医局を移転して本館4階に改築・新設し平成16年1月1日から稼動を始めます。この病棟は快適な療養生活を送っていただく為の様々な要件を備えています。病棟内は和を基調とした木目素材で統一し、廊下の幅や、病室一人当たりのスペースも充分広くとっています。トイレ、浴室を含め全てバリアフリーで、採光や移動の為の導線にも工夫しました。

療養病棟の眼目は急性期病棟から在宅療養や介護施設へ無理なく移行する為の橋渡しの役割を荷うものです。この病棟の発足を機会に、今後当院と日頃御世話になっております地域医療機関とのより緊密な連携が進展しますよう、ご協力をよろしくお願ひ致します。



療養病棟のデイルーム周辺

慰靈祭の開催

副院長 木寺 義郎

さわやかな秋晴れとなった10月18日の土曜日に、北館8階大講堂で合同慰靈祭が行われ、昨年8月より今年7月までに病魔と闘って亡くなられた患者様のご遺族174名の方にお集まり頂きました。

九品院の小田ご住職による般若心経の読経の間に、ご遺族に続いてわれわれ病院職員も在りし日の患者様のご様子を思い出しながら焼香いたしました。

最後に法話を謹聴しましたが、命の尊さを思い起こすとともに現世に在る者としてそれぞれの立場で一層精進を重ねることの大切さを啓発され、悲しみのなかにも心洗われる一時でありました。



「福岡県街なか再生勉強会」の皆さん來院 当院連絡通路をご紹介 庶務課長 松元 薫

全国の20万規模の都市で中心市街地の空洞化が進んでいる中にあって、元気がある街として佐世保が注目されています。

先日「福岡県街なか再生勉強会」の皆さんが当市を訪問され、当院とジャスコ佐世保店、松浦鉄道佐世保中央駅、四ヶ町商店街を結ぶ連絡通路を見学して頂きました。

この通路の企画は昭和62年から当院の主導のもとに進められてきたもので、見学の方々からも患者さんの利便性を高めるだけでなく、商店街の人通りを増やし地域を活性化するユニークな取り組みであるとの御言葉を頂きました。地域と連帶した病院という評価は大変喜ばしいことだと思います。



7階 南病棟 職場紹介

病棟看護師長 野原昌子

7階南病棟は、総床57床の循環器中心

の急性期病棟で、当院で唯一の内科単

科の病棟です。スタッフは看護師21名中13名が20歳代で育ち盛りの若者が多く、今後の成長が楽しみです。当病棟では7~8名の患者さんを同時に心拍モニター管理をしている傍ら、ナースコールを握ったまま離さない患者さんもおられ、日夜その看護に明け暮れています。



〈前列右端が野原看護師長〉

スタッフは仕事以外にも皆仲良しで、病棟独自でバーベキューやボウリング大会を企画するほかにも市内のイベントにも参加しており、夏は水上綱引き、冬は陸上綱引きと一致団結して試合に臨んでいます。今年は惜しくも入賞を逃しましたが、来年こそはと密かに野心を燃やしています。



Iはじめに

循環器の病気は突然起こることが多く、生命にかかることも少なくありません。生活様式の変化でコレステロールなどの多い西洋型の食事が増え、それに伴って循環器、特に狭心症や心筋梗塞の患者さんが増加しています。そのような状況にあって私たちは心臓外科が開設されていないという制約の中、患者さんにもっともふさわしい治療を行うことをめざして診療を行っています。

II当科の紹介

現在3名のスタッフが診療にあたっており、外来は毎日1~2名が担当しています。心エコー、マスター運動負荷心電図は毎日行っています。24時間心電図、トレッドミルによる運動負荷心電図は原則予約制です。心臓カテーテル検査は入院のうえ、火・木曜日に行っていますが、緊急の場合は24時間可能な限り対応しています。

III循環器疾患

①虚血性心臓病 現在、循環器の中でも最も多い病気で狭心症や心筋梗塞などが含まれます。狭心症は心臓に酸素や栄養を送っている血管が細くなる病気、心筋梗塞はその血管が詰まって起こる病気です。どちらも胸が痛くなることが多いのですが、狭心症の痛みは一時的で安静にしていると次第に良くなります。しかしそれを放置すると心筋梗塞に移行することもあります。

心筋梗塞の場合は強い痛みで長く続き安静にしても良くなりません。生命にかかることもあります。診断がつき次第治療が必要となります。まず心臓カテーテル検査を行います。これは手や足の血管から心臓の血管まで達する管(カテーテル)を入れ血管の狭くなったり詰まっている様子を調べる検査です。必要な場合、引き続きカテーテルを用いた治療を行い、その狭くなった部分や詰まりを広げます。経皮的冠動脈形成術という治療法で風船治療とか、ステントなどという名前で聞かれたことがあるかもしれません。

次頁の表に当院でのカテーテル検査や治療の状況を示しています。一昨年までは次第に件数が増加しています。昨年はやや減少していますがこれからまた頑張っていきたいと考えています。

②不整脈 不整脈には脈拍が遅くなるものと速くなるものがあります。脈拍が遅くなる洞不全症候群、完全房室ブロックと呼ばれる不整脈に対しては必要に応じ永久ペースメーカーの植え込みを行っています。

速くなる不整脈に対してはそれぞれの患



心臓カテーテル検査風景

者さんに応じて必要であれば薬物治療を行います。薬物治療でうまくいかない不整脈に対するカテーテルによる検査、治療、植え込み型除細動器などが必要となります。

当院では現在のところ不整脈に対するカテーテルの検査、治療、除細動器植え込みなどは行っておらず、九州大学などに依頼しています。

③心不全 いろいろな原因で心臓の機能が低下した状態で呼吸困難や手足のむくむなどがきます。治療は体の中に貯まった余分の水分を出すということになります。利尿剤、血管拡張剤などの薬物療法が中心となるますが、あまり効果がみられない場合は機械を使った治療を行うことになります。腎臓専門医と協力して透析の技術を用いて機械的に体内の水分を外に出す「体外式限外濾過(E C U M)」という方法を行います。

④その他 他にも心筋症、心筋炎、感染性心内膜炎などの病気があります。急性大動脈解離なども手術が必要な場合は当院で治療を行っています。

IV最後に

循環器もほかの分野と同様、日々新しい治療法、薬剤、治療器具が出ています。それらを使いこなし患者さんにもっとも良い治療が行えるよう努力して行きたいと思います。

体を動かすと胸が痛くなる方は普段は何ともなく狭心症の可能性があります。冷や汗を伴うような胸の痛みが続く方は心筋梗塞かもしれませんので、夜中でも休日でも遠慮せずに来院してください。また、他の症状でも心臓が気になる方は早めにご相談ください。

診療案内

●外来診療日

月～金曜(7:30～11:30受付)

急患はいつでも対応します。

(表) 心臓カテーテル検査総数

年 度	例 数
1998年	93例 (冠動脈形成術 26例)
1999年	95例 (冠動脈形成術 28例)
2000年	232例 (冠動脈形成術 64例)
2001年	210例 (冠動脈形成術 74例)
2002年	152例 (冠動脈形成術 31例) 心臓血管外科への紹介症例 11例 （冠動脈バイパス術 7例 急性大動脈解離 4例）



循環器内科スタッフ(左から村上、金子、久間)

新採用医師の紹介

①出身大学・卒業年 ②在籍医局 ③専門領域 ④出身地 ⑤趣味・その他一言



[放射線科] 野々下 政昭

の の し た ま さ あ き
野々下 政昭

- ① 久留米大学・平成7年
- ② 久留米大学 放射線科
- ③ 腹部画像診断
- ④ 大分県
- ⑤ ハーレーで佐世保の美しい景色を楽しんでいます。



[放射線科]

すえ ふじ ひろ あき
末 藤 大 明

- ① 佐賀医科大学・平成10年
- ② 久留米大学 放射線科
- ③ 放射線診断学・治療
- ④ 福岡県
- ⑤ 夫婦で同じ職場となりました。



[外科] 木崎 潤也

き さき じゅん や
木崎 潤也

- ① 久留米大学・平成13年
- ② 久留米大学 外科
- ③ 外科一般
- ④ 福岡県
- ⑤ 酒は飲んでも飲まれるなと言いますがよく飲まれています。



[耳鼻咽喉科] 井口 貴史

いの ぐち たか し
井口 貴史

- ① 鹿児島大学・平成12年
- ② 九州大学 耳鼻咽喉科
- ③ 耳鼻咽喉科一般
- ④ 福岡県
- ⑤ いい街ですね、佐世保。

職場紹介 ー夜間警備・休日受付ー

警備員 田代 学

Q どんな職場ですか？

A 病院の警備・休日受付業務を男性4名の交代制で行っています。



Q 仕事内容は？

A 基本的な警備業務としては院内巡回、防災警報盤の監視、鍵・出入口の監視があります。その他としては電話交換、急患受付、入院患者さんの案内などです。

Q 気をついていることは？

A 第一に院内の皆さんの安全です。特に防災に対する意識を常に持ち、防災監視盤の情報や巡回時の点検は細心の注意を払っています。

Q 仕事上、苦労したこと(していること)は？

A 夜勤が主になりますので、静かな夜には睡魔との戦いになる日もあります。



Q うれしかったことは？

A 患者さんや職員の方と笑顔で挨拶を交わす時です。

Q 印象深いエピソードなど

A 以前、小児科病棟に入院中の子供さんが病室を抜け出し行方不明になったことがありました。その時は警察の方や病院職員と協力し捜索を行い、近くのスーパーで遊んでいるところを発見し無事保護することができました。お母さんの元へ帰ってきた子供さんの顔を見てほっと胸をなで下ろした記憶があります。

Q 最後に一言

A 今まで皆さんの協力で病院の安全が維持できてきたのだと思います。今後もさらに警備・防災業務に力を注ぎ、病院の安全に努めていきたいと思います。

(インタビュアー／編集委員 森博紀)

佐世保共済病院

外来診療担当表

平成15年12月1日現在